

環境 AKITA あきた

2008

県民フォーラム 通信 No.26

発行日:2008.3.25

発行/NPO法人 環境あきた県民フォーラム
秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学会(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309
E-mail:mail@eco-akita.org ホームページ:http://www.eco-akita.org/



目次

あきた環境優良事業所制度	2~3
第7回エコフェス開催!	4
トピックス	5~7
地域の活動にいつそうの弾みを	8
お知らせ	8



もうすぐ申請
100件！

あきた環境優良事業所制度

ことしも多くの事業所が環境優良事業所に！

平成19年度 第1回認定審査会を平成20年1月29日（火）、第2回認定審査会を2月19日（火）、第3回認定審査会を3月19日（水）、いずれも秋田市の遊学舎で行いました。

第1回審査会では、「あきた環境優良事業所」に新たに9事業所が認定されました。金融業、薬局、旅館業、スポーツ用品販売業、運輸業など業種はさまざまですが、いずれも環境配慮の意識が高く、既に実施していること以上に、率先して環境負荷低減を目指す事業所活動を行っていただくことを期待しています。

また、既に環境優良事業所として認定され、3年経過した3事業所から更新申請をいただき、これも審査会で審査の後、更新を認めました。

店舗では、閉店30分前に冷暖房のスイッチoffを実行し省エネに取り組んでおり、ペンションでは、薪ストーブを導入しているとのこと。旅館業では、お客様のニーズを的確に把握することにより、料理が残らないような努力をされていて、飲食業の取り組みのお手本になるものと感心しました。

審査会としては、更なる推奨改善項目として、自動車運行の取り組み(エコドライブ)を推奨し、環境家計簿等を利用して数値の把握をすることを審査報告にあげました。

更新審査では、大幅な電気料金軽減の報告があり、環境負荷低減とともにコスト削減に役立っていることが改めて確認できました。

問題点として、業種によってはアイドリングストップが難しいことや、環境配慮製品は価格が高くなることなど課題も出され、それぞれの業種や立場によって取り組み内容に知恵を絞る必要性を感じました。

第2回審査会では、大仙市の印刷業8事業所、看板広告業、大館市の幼稚園、菓子製造業、にかほ市の調剤薬局や寺院など、多様にわたった業種の皆様からステップ1に申請をいただきました。

大仙市の印刷業の場合は、製紙会社による古紙率表示偽装などが世間を騒がしている昨今、足元から見つめなおし、信頼を勝ち得る業者となるための取り組みの一つとして足並みそろえて申請していただきました。看板業では、ボードなどのリユースを進めており、環境に配慮した事業活動に既に取り組んでいます。

県北の大館市では、老舗菓子舗や幼稚園から申請があり、単なる事業所活動をこえて、環境教育、あるいは接客面など、いろいろな環境配慮が期待できます。

環境優良事業所登録が圧倒的に多いにかほ市からは、調剤薬局2件と寺院2件の申請がありました。

第3回審査会では、害虫駆除業、遊技業、医院、幼稚園、小学校、JA、にかほ市など多岐にわたった申請がありました。

「にかほ市（行政）」は、数値で現状を把握し環境行動計画を立て目標値を設定する難易度の高いステップ2に認定されました。3つの庁舎や関連の部署での取り組みが地域全体で環境配慮の機運を盛り上げています。

秋田県内では初めて農業協同組合と小学校の認定となり、トップランナーとして期待されます。

認定され取組を行っている「あきた環境優良事業所」数は、100件を超える勢いとなっており、さらに輪が広がるよう当法人も働きかけていきます。

一覧を見ると、にかほ市の事業所が群を抜いて多いことがわかります。県内他地区の事業所の皆様も、ぜひあきた環境優良事業所申請をご検討ください。環境に優しい事業活動は、とりもなおさずコストの削減にもなります。

にかほ市 STEPⅡの 様子



にかほ市役所の外観



審査の様子



審査会の様子

クイズ 1

軽油代替燃料「BDF」の「B」は何？

① バイシクル(自転車)

② ブラザー(兄弟)

③ バイオ(生物由来)

各事業所の申請内容については「あきた環境優良事業所」一覧を参考にしてください↓
<http://www.eco-akita.org/topics/32/index02.html>

・株式会社 北都銀行	秋田県内	金融・保険業	・まつや	にかほ市	販売業
・株式会社 ウィズ	秋田市	サービス業	・(有)山国	大館市	温泉業
・ISO環境保全支援センター “サクセス”	にかほ市	サービス業	・あきた北農業協同組合	大館市	農業協同組合
・斎藤薬局	にかほ市	薬局	・(株)大館工芸社	大館市	製造業
・合資会社 富士タクシー	大館市	運輸・通信業	・(株)ダイナミック・サニート	秋田市	害虫防除管理業
・かがちゅうスポーツ有限公司	由利本荘市	サービス業	・(株)ダイナミック・サニート秋田営業所	秋田市	害虫防除管理業
・ペンション エランドール	仙北市	旅館業	・(株)ダイナミック・サニート大館営業所	大館市	害虫防除管理業
・(株)松田酒店	にかほ市	小売業	・(株)ダイナミック・サニート横手営業所	横手市	害虫防除管理業
・(株)エクセルコーポレーション	にかほ市	旅館業	・浅野耳鼻咽喉科医院	由利本荘市	医院
・大曲タイプ社	大仙市	印刷業	・前田眼科	由利本荘市	医院
・精巧堂印刷所	大仙市	印刷業			
・膳写堂印刷	大仙市	印刷業			
・高橋印刷所	大仙市	印刷業			
・松本印刷	大仙市	印刷業			
・弘文堂印刷	大仙市	印刷業			
・三森印刷	大仙市	印刷業			
・佐藤印刷所	大仙市	印刷業			
・仙北印刷所(株)	大仙市	印刷業			
・ビッグアート	大仙市	看板業			
・大館ホテヤ学園	大館市	専門学校			
・練屋菓子舗	大館市	菓子製造販売業			
・ねむの木調剤薬局	にかほ市	薬局			
・(有)ティエムケー塩越調剤薬局	にかほ市	薬局			
・太白院	にかほ市	寺院			
・高昌寺	にかほ市	寺院			
・(有)ジャイアント	にかほ市	遊技業			
・(株)たつみ企画	にかほ市	旅館業			
・社会福祉法人明星福祉会	にかほ市	幼稚園			
・にかほ市立象潟小学校	にかほ市	小学校			

ステップ1 更新事業所

・(株)清水組	男鹿市
・柴田工事調査(株)	湯沢市
・(株)高嶋組	湯沢市
・東光コンピュータ・サービス(株)	大館市
・自然療法整体院	にかほ市
・三和精鋼(株)	にかほ市
・大辰工業(株)	にかほ市
・エヌエス環境(株)秋田支店	秋田市

審査会委員(敬称略 順不同)

・菊地 英治	県立大学准教授
・高橋 鑑司	環境あきた県民フォーラム副理事長
・藤原 儀弘	環境あきた県民フォーラム副理事長
・蝦名萬智子	環境あきた県民フォーラム理事
・小西 和博	環境あきた県民フォーラム理事
・工藤 兼勝	環境あきた県民フォーラム理事

秋田県地球温暖化防止活動推進センター指定期間更新になりました

秋田県地球温暖化防止活動推進センター指定

秋田県地球温暖化防止活動推進センターとは、地球温暖化対策の推進に関する法律第1章第24条により各都道府県知事がそれぞれの都道府県に1つ指定することができると定められています。

当環境あきた県民フォーラムは第1回目の指定期間が平成20年3月31日で満了となり、20年度から3年間のセンター指定に向けて応募しておりました。

選考を経て、平成20年2月14日付けで正式に秋田県地球温暖化防止活動推進センターとして県知事より指定を受けましたので、ご報告いたします。

指定期間は、平成20年4月1日から平成23年3月31日までの3年間です。今後も地球温暖化防止に向けて活動していきますので、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

第7回エコフェス開催！



平成19年9月1日、2日、秋田市のJR秋田駅前買物広場などで「第7回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」が行われました。

会場には45の企業や団体の活動、取り組みのブースが設けられ、それぞれの環境保全、環境教育、省エネ関連商品やリサイクル製品など、エコ&リサイクルをテーマに来場者に情報発信しました。

秋田市立川尻小学校の吹奏楽部とこどもエコクラブの楽しいオープニングの後、秋田県環境大賞表彰式とマイバッグ持参率達成店へのステッカー交付式が行われました。

平成19年度秋田県環境大賞受賞は、5団体と1個人です

◆ヤマト運輸株式会社 秋田主管支店

エコドライブの運転技術を習得し、実践。車毎に目標を決め、燃費向上に取り組んでいる。

無駄なアイドリングをしないためドライバーにかき紐を着用し、車から離れる場合はエンジンを止めキーを抜く。

ハイブリッド車・LPG車を36台導入しており、2012年まで150台導入予定。

また、県内の小学校5・6年生を対象に実施しており、地球温暖化ガスの悪影響や私達ができる二酸化炭素防止についてヤマト運輸の環境対策を説明。

◆マックスバリュ東北株式会社

2000年度から、次代を担う子供たちへの環境教育支援を目指し、県内9クラブのこどもエコクラブの活動を支援。環境カウンセラー、森の案内人、食生活改善協議会理事、当社従業員にこどもエコクラブのサポーターを依頼、コーディネート、活動経費を助成。活動内容は、環境省や県、自治体が開催する環境関連のイベント参加やクラブ独自の「エコクッキング」「自然観察会」「クリーンアップ」等多種。2006年度の活動回数は、9クラブ合計で69回行われ、年間の活動コンクールも実施。

◆秋田菜の花ネットワーク

平成17年から民間の企業、団体、地域住民、秋田県立大学、行政など幅の広い分野でネットワークを形成し、菜の花をキーワードとし循環型社会をつくるため、各種取組を民間の自主的な活動が主体となり実践。

菜の花の作付拡大、廃食油の収集・再利用などの取組を実施。菜の花フォーラムや研修会の開催、各種イベントへの出展により普及啓発に努めている。

◆刈和野昭和町河川愛護会

昭和60年に「河川愛護会」を結成し、河畔の環境浄化と次代を担う子供たちに川への畏敬の念と川を慈しむ心を育てる活動を展開。河畔及び堤防下の草刈清掃作業（年3回）、「灯籠流し・花火線香大会」の開催（やがて発展し「ふるさと西仙まつり」となる）、「三世交代交流会」の実施（毎年）。

子供会の活動や川文化を守り受け継ぐ活動等と連動することにより、活動が定期化し質的にも高まりを見せ、定着する。平成15年度からは、「雄物川中流域一斉クリーンアップ」、18年度は「大仙市西仙北地区雄物川河川クリーンアップ」として、行政が取り上げ、拡大された形で発展。

◆大館自然の会

「ふるさとのおきれいな空気と水、美しい自然景観、かけがえのない動植物などを守り、次世代に伝える」ことを基本目標として掲げ、多数の市民の参加を得て、1988年から活動。

長木川上流域に、清流の確保、生態系の再生を図るための水源林（テロロの森）を創出、ブナを中心とした広葉樹4750本の植林と保育を実施。

大館市民の森にトンボ池を16面造成し、34種のトンボを復活させた。（トンボ公園の創出）

ふるさとの環境保全の啓発を図るため、自然観察会の実施、環境学習を進める副読本の発行。活動の後継者を育てるため、小中高生の参加を図っている。

◆田口 政治郎さん

利右工門ざくらの増殖のため、昭和20年から活動を開始。平地で実生を探し育苗し、毎年数本の移植で増やした結果、敷地内に約50本となり、見事な景観となった。この間、多方面へ相当数の苗木を提供。テレビ、新聞で報道され、県内一円から見物の方々が訪れるようになった。

マイバッグ持参率達成店へのステッカー交付

秋田県は、「ノーレジ袋推進運動」レジ袋削減に向け事業者と自主協定を締結しました。

＜参加事業者 参加店舗数＞

- ・秋田市民消費生活協同組合（2店舗）
- ・株式会社 伊徳（18店舗）
- ・株式会社 タカヤナギ（17店舗）
- ・マックスバリュ東北株式会社（38店舗）
- ・株式会社 マルダイ（6店舗）
- 五十音順

上記の事業者へ、マイバッグ持参率20%を達成した店舗に掲げられるステッカーの交付が行われました。



川尻小学校のオープニング



環境大賞受賞のみなさん



マイバッグ持参率達成ステッカー交付



絶大なる人気の超神ネイガー



超難解な大学生対抗クイズ



お疲れ様ごあいさつの藤原実行委員会会長

会場ステージでは、空き缶釣りゲームや超神ネイガーショー、環境ウルトラクイズで盛り上がり、マイバッグづくりや、牛乳パックのリサイクル紙すき、自転車発電、間伐材はがきづくりなど体験コーナーも充実しており、親子連れなどで大賑わいでした。

秋田県地球温暖化防止活動推進センターでは、「ストップおんだん館inあきた」で省エネをテーマにした「小さなウサギマイ・ナス・ロクの大冒険」紙芝居を上演し、小さな子どもたちに大人気でした。

街のゴミを拾うブース、自然に親しむブース、大学生によるアカデミックなものまで「エコ」をテーマにいろいろな出展があり、来場者の「気づき」発見の場になったと思います。



いつも大人気のリサイクル紙すき



木の葉の工作



ラップの芯で万華鏡づくり



マイ・ナス・ロクの紙芝居

北東北子ども環境サミット2007インあきた



すぐにお友達



ちょっと照れ屋な森っち

平成19年8月3日から5日まで、第9回北東北子ども環境サミットが、遙か彼方から「台風」をご来賓に、八峰町「あきた白神体験センター」で賑々しく開催されました。

朝早くからバスに乗ってきた子ども達は、疲れを物ともせず、開会式に臨みましたが、初めはモジモジしていた子ども達でしたが、いくつかのプログラムをこなすうちに、アツという間に「お友達」になってしまいました。今年の学生ボランティアは、「秋田県立衛生看護学院」の学生10名になっていただきました。若くてシャキシャキな「お姉さん」だけに、すぐに班のリーダーになってしまいました。

4日が活動の中心となる日だったので、台風の影響も八峰町沖にあり、午後の海での体験活動は中止となり、屋内での活動に変更となりました。ただ、午前中は留山での「ブナの森ハイキング」は予定通り行いました。雨が幸い(?)し、ブナの樹幹流やうっすらとかすむ神秘的な様子が見られ好評でした。

パン作り、猿追いの話、マジックショーなど、ここでは紹介しきれないたくさんの方の体験や話を聞きました。これらのことが、参加した子ども達の成長の糧となり、明日の北東北のみならず地球を守っていくことにつながることを期待しています。



ブナの森



豆腐作り体験

地球は赤い！？

平成19年10月27日(土)、秋田市の遊学舎会議室にて「地球温暖化の現状と将来予測」をテーマに平成19年度第5回秋田県地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました。

講師には、江守正多氏(国立環境研究所 地球環境研究センター 温暖化リスク評価研究室長)をお願いし、地球温暖化に関する科学的、論理的な知識の習得を目指しました。

研修会では、講演前にセンターが作成した地域活動用紙芝居を上演しました。幼稚園から小学校低学年の子どもも対象の温暖化防止を呼びかける内容で、大人の推進員の皆さんにも楽しんでいただき、活用をお願いしました。



講師の
江守正多さん

江守先生の講演では、あらかじめ推進員の皆さんから質問をいただき、それらを組み入れた内容でお話いただきました。IPCC第四次報告の中で、20世紀後半の気温上昇は人類が引き起こした可能性が非常に高いとされています。この「かなり可能性が高い」は90%の確信、言い換えれば「ほぼ間違いない」になるそうです。



センター職員等による紙芝居

東京大学気候システム研究センター、国立環境研究所、海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センターによる気候変化実験「地表気温変化シミュレーション」の映像で、世界地図が気温の低い青や水色の寒冷色から、年数を追うに連れて刻々と赤やオレンジの暖色に変化するさまは、見ていて恐怖を覚えました。いろいろな気候条件を入力した地球シミュレーターの映像は多くの人たちに見てもらいたいものです。

今のまま、経済の発展を追い求め、便利な生活を続けるシナリオと、そうではなく、共生し循環型社会を形成しながら生活するシナリオとでは、2100年の地表気温上昇で1.1~6.4℃と5℃以上の差が出ます。温暖化は既に始まっており、個々の人間は地球上では小さな存在でしかなく、予想される悪影響を食い止めるためには、いろいろな面から対策を取らなければいけないと実感した講演でした。

当日、講師の江守先生は、秋田駅から会場の遊学舎まで1時間強かけて徒歩でお出でくださいました。会場設営をしていて、歩いていらっしゃる江守先生が遠くに見えたときは感動し、車に頼っている自分を反省しました。



地球シミュレーションの映像…暑そう！



地球温暖化の現状は…

地域の活性化を目指して

平成20年3月5日(水)北秋田市交流センターで「あきたバイオ燃料フォーラム」が行われました。

1. 講演『秋田スギからバイオエタノール』

講師：日清製粉・営業本部エコチームマネジャー 長谷川 清氏
木材から「エタノール」を取り出す研究についての講演があり、抽出の邪魔者といわれている「リグニン」をいかに処理するかがポイントとのこと。そして、そのための酵素を北秋田市で発見し、リグニンからプラスチックをつくる可能性についての話もありました。さらに、製造工程・製造装置を含め秋田方式と呼べるものが多いことに驚きました。

2. 『菜の花から秋田の農業・農村を元気にしよう！』

講師：秋田県立大学 生物資源学部教授 佐藤 了(さとる)氏
廃油からBDFを製造し、農機具などに利用する活動について紹介されました。ポイントは域内でつくり域内で消費することで、現在の

コストに見合うサイクルができるということです。

3. 『菜の花と農地を活かした循環型社会づくり』

講師：小坂町産業課 参事 近藤 肇氏

「産地づくり交付金」を利用して『景観作物』を植えようという提案がありました。いろいろな助成を使うと10a当たり6万1千円の収入になり、3年間で当初目標30haの作付けを達成したということです。菜種を持参した場合、搾油をしてもらえるそうです。

200人を超える参加があり、講演の内容には秋田県民を「元氣」にできる内容が沢山ありました。将来に希望を持てる広報を多くの県民が望んでいます。



説明を行う菜の花ネットワーク



ナタネを搾る搾油機



搾油されてます

地球温暖化フォーラム開催

平成19年11月10日(土) 秋田県生涯学習センター講堂で標記のフォーラムを秋田地方気象台、秋田県と共催で開催しました。

これに先立って、秋田県立大学の長谷川兼一准教授による「住宅の省エネルギー対策」をテーマの講演も行われました。

＜地球温暖化フォーラム＞

(1)「地球温暖化問題の最新の知見と取組」

里田 弘志氏(気象庁地球環境・海洋部 地球環境業務課 地球温暖化対策調整官)

(2)「秋田県における地球温暖化の兆候」

巻 和男氏(秋田地方気象台 防災業務課長)

(3)「秋田県の地球温暖化対策について」

桑原 耕一氏(秋田県生活環境文化部 参事兼環境あきた創造課長)

里田さんは、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第四次作業部会に参加していたとのことで、CO₂排出量の急増や気温上昇などの気候変化は人為的なものに起因している可能性が90%以上であり、これは科学者の認識では間違いない、確定してよいくらいの可能性だとのことです。

100年後の日本では、平均気温2～3℃上昇、年間降雪量は北陸で

は50%減少の予測があり、明らかに温暖化が進行。大雨日数も増加の予測があり、急激な気候変化に対応できない生態系に大きなダメージを与えるということです。

CO₂の気体の重さがイメージできるような実験をして見せてくれたりと、わかりやすい講演でした。ちなみに1kgのCO₂の体積は、約ドラム缶3本分とのこと。最後に、人類がどのようなライフスタイルを選択するかによって気温上昇に大きな差が出てくることから、「未来は私たちが変えられる」と結びました。

巻さんは、秋田における地球温暖化の兆候として、昔はなかった猛暑日が最近毎年のようにあること、春が早くなって秋が遅くなっていることや、降雪量変化は顕著ではないものの、積雪日数が減少していることから平均湿度が減少して秋田美人のきめ細かな肌があぶない…と余談を交え身近なことから始めようと締めくくられました。気象台では、出前講座も行っているそうで、ぜひ利用してくださいということでした。

県環境あきた創造課の桑原さんは、秋田県として、2010年度には1990年度比で9.5%のCO₂削減を目指していること、そのために県民総参加でライフスタイルの転換を図る必要があり、エコ家計簿導入や当法人運用のあきた環境優良事業所認定制度などを提唱しました。

3人のお話をうかがいながら、「知っているをしているに…」というCMを思い出しました。

秋田地方気象台→<http://www.sendai-jma.go.jp/tidai/akita/>



このビニール袋にCO₂を入れてっつ



CO₂の体積はね…(講師の里田さん)



上野 気象台長
最初のごあいさつ



講師の里田さん



気象台の巻さん



県の桑原さん

県民総参加でストップ・ザ・温暖化

平成20年1月30日(水)、県議会棟で「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議 企画委員会」が開催されました。

＜企画委員会 構成メンバー 順不同＞

東北電力(株)秋田支店	秋田県地域婦人団体連絡協議会
東部ガス(株)秋田支社	秋田県地球温暖化防止活動推進センター
東日本旅客鉄道(株)秋田支社	秋田県森林組合連合会
(社)秋田県トラック協会	秋田県農業協同組合中央会
(社)秋田県バス協会	菅原拓男氏
(社)秋田県建築士会	(秋田大学工学資源学部教授)
秋田県商工会議所連合会	東北森林管理局
秋田県商工会連合会	秋田地方気象台
(社)秋田県経営者協会	秋田県市長会
(社)秋田県青年会議所	秋田県町村会
秋田県消費者協会	秋田県生活環境文化部

上記メンバーが、それぞれ20年度予定される活動を報告しあい、提案や検討事項などを確認しました。

エネルギー部門ならではの省エネ提案や身近な環境教育、植樹活動など幅広い取り組みが行われており、心強いものがありました。

JRでブレーキをかけたときのエネルギーを再利用する省エネ車両があるということにビックリ。秋田市中通にある東北森林管理局のロビーにペレットストーブを設置して好評を博しているそうです。

また、平成20年4月19日(土)には下浜海岸で植樹会を行う予定ということもわかりました。秋田県地球温暖化防止活動推進センターとして、皆さんの取り組みの輪が広がるような活動をしていきたいと思います。

ことは京都議定書第一約束期間が始まり、県民総参加でストップ!地球温暖化を目指す意気込みを県民会議メンバーが新たに確認しました。



県議会の様子

公用車にマグネットシール

秋田県由利地域振興局では、国体期間中、マスコットのスグッチシールを公用車に張って広報に努めたことにヒントを得て、いろいろなメッセージを職員が印刷し発信する取り組みを始めました。

タイムリーな話題から、通年での取り組み内容など、発信するメッセージは多種多様の可能性があり、今回は「減らそうレジ袋」「買い物はマイバッグで」とプリントされています。可愛いスグッチも一役買っていて、地域内を走る公用車からのPR活動の効果が期待されます。



平成20年度『環境あきた県民塾』を開講します!

環境について学んでみませんか?

県では、身の回りから地球規模のものまで、環境問題について学ぶことのできる場として、「環境あきた県民塾」を平成16年度から県内3ヶ所(県北、中央、県南)で開講しています。

平成20年は、能代市(県北)、秋田市(中央)、湯沢市(県南)にて5月～11月の原則日曜日に開講します。

開講テーマ、日程、入塾申込などの詳細はこちら

環境あきた創造課→<http://www.pref.akita.lg.jp/kankyoho/>

夢3000km ジョナサン in オーストラリア縦断報告会



ジョナサン エアーズロックの前で



フォルムが近未来！？



山本理事長と
秋田テレビの石塚さん



玉川大学の小原先生

当法人理事長の山本久博が平成19年10月、太陽光発電と燃料電池ハイブリットの究極エコカー ジョナサンでオーストラリア大陸縦断レースに参加、完走し、エコカーの未来に新しい展望を開きました。

平成20年1月6日、秋田市のキャッスルホテルで、その報告パーティーが開催され、会場に展示されたジョナサン本体や放映されたテレビ番組を楽しみながら、気温40℃を越す灼熱の砂漠を越えて、念願のエアーズロックにたどりついたチームメンバーの喜びが伝わってくる楽しい会でした。

技術指導の玉川大学の小原宏之先生によるジョナサンの説明や機材を運ぶ裏ドライブ話、道路の輻射熱の影響緩和にアイデアなどなど、一筋縄ではいかなかった旅の醍醐味が参加者にも十分伝わる報告会となりました。

ジョナサンは、山本の本業の美容業で使用するヘアドライヤー消費より少ない約950Whでオーストラリア縦断をしたそうです。大の車好きだからこそエコカーに挑戦しているそうですが、毎年開催されている大潟村でのソーラーカーレース、エコノムーブの大会等、地球に優しい車の開発や技術者の育成のため、大きく貢献していると思います。

Jonasunチームについて：<http://0009.jp/>

燃料電池部門レース：<http://www2.ogata.or.jp/>

玉川大学のハイブリッド技術情報：

<http://tscp.tamagawa.jp/shc/index.html>



ジョナサンの説明中



ジョナサンの太陽パネルと本体



シンプルなジョナ
サン本体



内蔵された水素ガスポンペ



燃料電池ミニカー



燃料電池ミニカーに興味ありあり

平成19年度秋田県燃料電池関連産業導入促進協議会総会 ～燃料電池と太陽光発電ハイブリット車による オーストラリア縦断レースの報告も～



江藤浩之氏による講演の様子



山本理事長による講演の様子

平成20年3月7日(金)、秋田県庁第2庁舎8階の大会議室で平成19年度秋田県燃料電池関連産業導入促進協議会総会が行われました。議事の中で特別事業報告があり、燃料電池関連の講演が行われました。特別事業報告Ⅰでは、三菱マテリアル株式会社の戦略事業開発燃料電池グループ技術主幹の江藤浩之氏による固形酸化物形燃料電池～コージェネレーションシステム開発・リサイクル技術～について、特別事業報告Ⅱでは、当法人理事長の山本久博が、「世界初・燃料電池+太陽光発電ハイブリット車によるオーストラリア縦断レースの軌跡」と題して講演を行いました。

三菱マテリアル株式会社の江藤浩之氏による固形酸化物形燃料電池～コージェネレーションシステム開発・リサイクル技術～の講演では、中温作動型の固形酸化物形(SOFC)燃料電池の開発とリサイクル技術に関する説明をしていただきました。これは低温型の燃料電池に比べ高効率であることが特徴だが、発電容量が家庭用のものよりは大きい

工場などには小さいという10kw前後～100kw程度のシステムで、ターゲット層はコンビニやファーストフードレストラン等。また低コスト化や希土類元素原料の安定供給のために発電セルをリサイクルするという地球環境を考えた興味深い話もしていただきました。

その後に行われた山本理事長の講演では、燃料電池を実際に使ったレースのリアルな感想を中心に燃料電池への世界の注目度合いや、注目度が高かったことをお話いただき大いに関心させられました。また実際に使った機器が大阪のメーカーだったことから秋田の会社での開発をお願いしたい、などとThink Globally, Act Locallyの意識を強く感じる内容でした。第2庁舎1階には実際に使った車両の展示を行い、講演後に山本理事長自ら説明をしてくれました。

どちらの話からも、燃料電池の未来への情熱が強く感じられましたが、現在行われている燃料電池への秋田県の取組が多くはないという現実も感じました。



ハイブリットカーに実際に乗ってみました！



山本理事長自ら説明してくれました



地域の活動にいっそうの弾みを



県加藤部長より
修了証授与

秋田県主催の「環境あきた県民塾」修了生へ修了書と「あきたエコマイスター」登録証を授与する「あきたの環境を考える集い」が平成20年3月8日(土)秋田県文化会館で開催されました。

今年の修了生は69名で総計302人、うち、あきたエコマイスター登録は241人となりました。



県央エコマイスター活動紹介の
渡辺さん



県北エコマイスター活動発表の
野口さん



山本理事長の
祝辞



山根一真さん

修了生には当法人の山本久博理事長が「50年、100年後の子どもたちが私たちの活動を見ていてくれる。その子たちにとって、より良い方法を選び取って活動してほしい」と祝辞を述べました。

その後、県北・県央・県南の各エコマイスター協議会の環境保全活動が紹介され、地域での地道な普及活動が推進されていました。

後段は、ノンフィクション作家の山根一真さんによる「温暖化クライシス(危機)と地球生命」～あきたエコマイスターの課題～をテーマに、風速70mを記録した西表島の嵐真つ只中や太陽光の届かない深海の生命体の不思議映像など迫力ある講演が行われ、人類は地球の一部であり、地球温暖化はすべての生命の危機となっている、「まった」をかけるため、これからのあきたエコマイスターの活躍に期待すると結ばれました。



エコマイスタージャンパー姿
の修了生

「みんなで、地球温暖化にブレーキを」植樹ボランティア募集!

秋田市下浜海岸に10,000本のカシワ、クロマツを植えましょう。

日時：平成20年4月19日(土)午前10時～11時

詳しいことは マックスバリュ東北(株)環境・社会貢献部「秋田下浜海岸植樹」
事務局018-847-1163(受付時間 午前9:30～午後3:30)



昨年の下浜植樹の様子
(マータイさんと)

平成20年度総会・交付式・講演のお知らせ

平成20年4月19日(土)午後1時30分から特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム平成20年度社員総会を開催します。

総会に先立ち、あきた環境優良事業所認定証交付式を行い、その後、当法人の山本久博理事長が昨秋オーストラリアで参戦したソーラー&燃料電池ハイブリッド車「ジョナサン」のレース報告とジョナサン本体の展示を行います。

総会は3時開会予定ですので、社員、会員の皆様、一般の方々もどうぞご出席ください。

新規入会企業・団体のご紹介

(株)秋田魁新報社 (企業会員)

(株)ウイズ (企業会員)

I LOVE E&C (団体会員)

入会について あなたも参加しませんか♪

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

○会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	1口:1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口:3千円 年1口以上	1口:1千円 年1口以上

○会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146 J Aバンク 本店 普通 0007634

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ! 温暖化

事務局から

最近、風の強い日が多いような気がする。この間、あきたの環境を考える集いで講師の山根さんが、これでもかっ! 状態で暴風雨の映像を見せてくれたの、ぞくぞくするほど怖かったわあ...

自然の中で、人間なんて小さな存在なんだよね。それなのに、大きな地球環境に影響を与えてるって、ある意味すごい。感心してる場合じゃないけど。

クイズの答え

クイズ1 ③

クイズ2 ②

クイズ3 ③

解説: BDFはバイオ・ディーゼル・フューエルの略で、ディーゼルエンジンに使用する軽油の代替燃料として、主に大豆やナタネなど植物油や廃食用油から精製されます。